

フィリップ・トーンドル先生公開レッスン 2019年9月10日

ヨーロッパ室内管弦楽団、シュトゥットガルト SWR 交響楽団の首席オーボエ奏者で、ドイツ・ザール音楽大学教授のフィリップ・トーンドル氏の公開レッスンが2019年9月10日に行われ、7人の学生が受講いたしました。

レッスンでトーンドル先生は、まずそれぞれの演奏を聴いてから技術的な問題点や課題を適確に見つけ出し、それに対する効果的な練習方法を示してくださいました。また作品の解釈についても、作曲家の書いている楽譜の中の音符だけではないダイナミクスやアクセント、強弱の変化や音の処理に関する書き込みにもより注意をして演奏するようにと指導され、同時にその表現方法を素晴らしい音色と大きなダイナミクスの変化で実際に演奏して示してくださいました。そして実際にその大きな表現力をすぐ横で体験することにより、生徒達の息の使い方にも変化が現れ、表現の幅が広がっていくのが感じられました。また、コンクール受賞者としての経験から、コンクールの際に注意すべき点なども具体的に指示してくださいました。とても有意義で素晴らしいレッスンとなりました。



